

7. 学校教育における環境学習 3-10

佐賀市では、環境行政と教育行政が連携して、水と緑に囲まれた田園都市・佐賀の素晴らしい環境をふまえ、地域特性や人材を活かし、小中学校における系統的・継続的な環境学習システムを構築して、全小中学校への普及に取り組んでいる。

また、水と緑に囲まれた田園都市・佐賀をもっと豊かにし、未来に引き継ぐため、環境にやさしい学校づくりを目指す「佐賀市学校版環境 I S O 制度」を設け、それぞれの学校の児童・生徒と先生と一緒に、環境問題について考え決めた環境にやさしい行動目標に取り組んでいる。

(1) 教職員対象研修会の開催

- ① 環境教育担当者研修会（年2回）
- ② 環境教育指導者研修会（8月）
- ③ 清掃工場見学及び分別体験研修（夏季休業中に小4担任を対象に実施）

(2) 環境学習の成果発表

- ① 佐賀市子ども環境作品展（マイバッグ部門、環境ポスター部門）
- ② 佐賀市子ども環境活動発表会（佐賀市環境保健推進大会において開催）
〔平成23年度発表校〕鍋島小学校、川上小学校、富士中学校

(3) 学校版環境 I S O

- ・平成22年度に全小中学校54校が「佐賀市学校版環境 I S O 制度」認定取得
- ・平成23年度学校版環境 I S O 審査
 - ① 継続審査31校（訪問審査13校 書類審査18校）
 - ② 更新審査23校

8. 大学と連携した環境学習の推進（佐賀環境フォーラム）

3 - 10

今日、環境問題に対する市民意識は年々高まってきている。しかし、環境に関する情報の中には一方的な見解も多く、これを安易に受け入れ、誤った知識を持つことも少なくない。

このため、佐賀市と佐賀大学では、様々な情報が交錯するなかで環境に関する正しい認識を培い、理解を深めて行動して欲しい、そして、学生及び市民の問題意識を把握することで、今後の行政施策、大学の研究テーマ等に反映させていきたいとの想いから、互いのノウハウを生かしながら「佐賀環境フォーラム」を平成13年度から開催している。

佐賀環境フォーラムは、「講義」「現地見学」「体験講座」「グループワークショップ」で構成し、市民と大学生が同じ教室で学ぶという形式で実施している。

【平成23年度事業内容】

◇受講者

一般42名、法人4社、スポット受講12名、学生26名

(1) 【講義】－産学官分野から人材を迎えた講義－

「講義」は、働いている市民の方でも参加しやすいよう、夜7時から開始している。講師は、環境について様々な視点から勉強できるよう、佐賀大学の教授陣のほかに、企業の担当者、行政担当者など各分野から人材を迎えている。

	講 義 題 目	講 師	
1	環境問題概論・フォーラム概要説明	佐賀大学 総合分析センター 准教授 佐賀環境フォーラム実行委員会 事業部長	兒玉 宏樹
2	環境行政の最前線 (温暖化国際交渉の舞台裏など)	環境省環境保健部 化学物質審査室 室長	和田 篤也
3	佐賀市の環境施策について	佐賀市 環境下水道部 部長	竹下 泰彦
4	学生の環境活動への取り組み	佐賀大学 産学官連携推進機構 教授	佐藤 三郎
5	佐賀大学の環境への取り組み	佐賀大学 学長	佛淵 孝夫
6	太陽光発電（魚町エコルーフ）を利用した商店街のにぎわいづくり	北九州市 魚町商店街振興組合 副理事長	梯 輝元
7	経済学部のエA21の取り組み	佐賀大学 経済学部 経営・法律課程 経営システム講座 准教授	小川 哲彦
8	佐賀の野鳥・野鳥観察の方法	佐賀野鳥の会々員	久我 浩人
9	有明海の環境再生に向けて	佐賀大学 低平地沿岸海域研究センター 准教授	速水 祐一
10	佐賀城お堀のハス再生への道のり	ハス再生実行委員会 総括事務局長	永原 光彦
11	佐賀大学の環境教育の取り組み	佐賀大学 文化教育学部 人間環境課程 環境基礎講座 教授	岡島 俊哉
12	北極海から気候変動をひもとく	東京海洋大学 海洋科学部海洋環境学科 環境システム科学講座 准教授	島田 浩二

(2) 【現地見学会】・【体験講座】－環境問題を現場で学ぶ－

現地で実際に見て体感してもらうことで、机上の環境問題と自分の身近な環境とを直接結びつけて考えてもらうことを目的に現地見学会及び体験講座を実施している。

現地見学会では実際に佐賀県内の様々な箇所へ赴き、体験講座では自然観察やごみの実態調査を行った。

【現地見学会】

2 コースに分かれて、県内の施設を見学・研修した。

1 コース：九州電力総合研究所 － 海水淡水化センター（まみずピア）

2 コース：大塚製薬佐賀工場 － エフピコ佐賀工場 － 味の素佐賀工場

【体験講座】

① 野鳥観察：佐賀城公園、東与賀海岸の2カ所で野鳥観察を実施

② ごみ探検隊：佐賀大学構内のごみの分別調査・研修

(3) 【グループワークショップ】－聞くだけでなく自ら調べることで問題の本質を把握－

「グループワークショップ」は、参加者がグループに分かれ、それぞれに研究テーマを決めて研究活動をするものである。単に講義を受けるだけでなく、何が本当に正しいのかを自ら調べることで環境問題の本質を把握してもらうことを狙いとしている。

この研究の成果は、佐賀大学の目的志向型研究や佐賀市の環境施策に役立てられている。

研究テーマ（全4テーマ）

① シックスクール

③ 水環境

② 環境教育

④ チャリツーリズム

(4) 【インターンシップ型ワークショップ】－実際にNPO法人の活動を体験－

「インターンシップ型ワークショップ」は平成22年度から新たに実施され、佐賀大学生が環境系NPO法人の活動を実際に体験することで、より身近に環境問題について学ぶものである。

派遣先NPO法人（全2団体）

① 温暖化防止ネット

② 元気・勇気・活気の会「三気の会」

(5) 【佐賀打ち水大作戦2011】

広く打ち水の実施を呼びかけることにより、市民や事業所等に省エネを始め環境問題を考え積極的に取り組んでもらうきっかけとする。平成16年度から実施。

参加イベント：佐賀城本丸歴史館イベント

9. 佐賀市環境行動指針 3-10

望ましい環境像を実現するため、環境基本計画には7つの基本目標を設定している。その目標を達成するため、市民や事業所がどのような環境配慮行動をすべきかをわかりやすい指針としてまとめ、平成20年度に「佐賀市環境行動指針」を策定した。

この指針は、市民や事業所が日常生活及び仕事の中で実践すべき具体的な行動を示しており、各行動によって得られる効果について、二酸化炭素の削減量及び節約金額に可能な限り換算している。

多くの市民、事業所が「佐賀市環境行動指針」に定める行動を実践することを目指し、広報・周知活動や出前講座を実施している。

(1) 名称及び内容

名 称	項目数	内 容
佐賀市環境行動指針市民編	68項目	家庭でできる省エネ、ごみの減量 他
佐賀市環境行動指針事業所編	30項目	事業所内でできる行動、移動時の行動 他

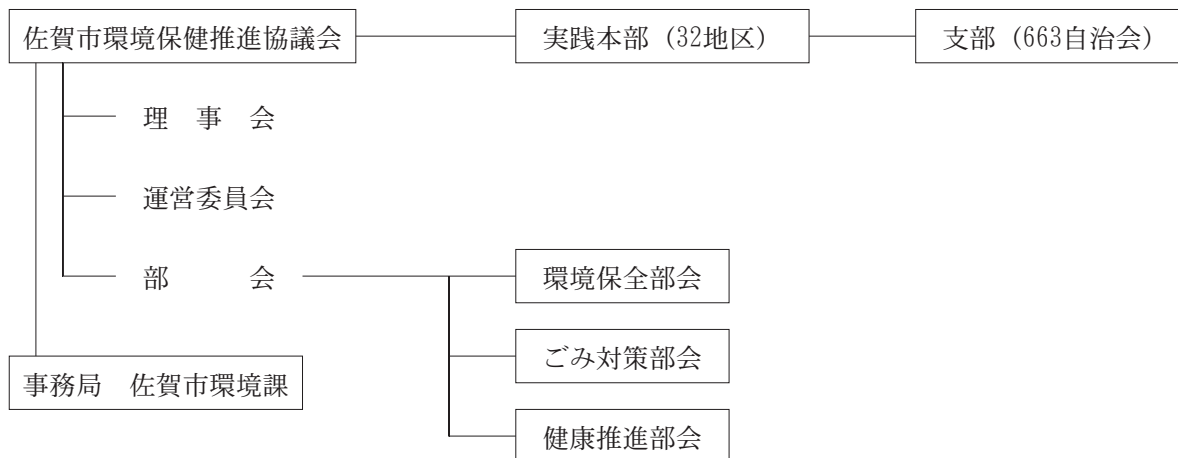
(2) 平成23年度出前講座の実績

職員出前講座制度や団体等からの直接依頼などを通じて、「佐賀市環境行動指針」に関する出前講座を実施。

- ・実施期間：平成23年4月～平成24年3月
- ・実施回数：21回
- ・参加者数：413人

10. 佐賀市環境保健推進協議会 3-10、3-11

(1) 組 織



(2) 事 業

年 月 日	事 業 内 容
平成23年 6 月 5 日	県下一斉ふるさと美化活動
平成23年 8 月29日～30日	先進地視察研修（久光製薬株鳥栖工場 他）
平成23年10月13日	健康推進部会研修（株丸美屋南関工場 他）
平成23年10月15日～16日	さが環境フェスティバル
平成23年10月20日	マイバッグキャンペーン（旬鮮市場久保田店）
平成23年10月21日	マイバッグキャンペーン（ニコー兵庫店）
平成23年11月15日	路上喫煙防止キャンペーン
平成23年11月21日	ごみ対策部会研修（株エコポート九州）
平成24年 2 月18日	第52回佐賀市環境保健推進大会（参加者約700名）
平成24年 3 月19日	緑のカーテン作成資材無料配布
平成23年 4 月～平成24年 3 月	地区組織活動、部会活動事業
平成23年 4 月～平成24年 3 月	環境保健推進協議会理事会 3回
年間の活動方針	【環境保全部会】 1. 節電をしましょう 2. 緑のカーテンをしましょう
	【ごみ対策部会】 1. 燃えるごみの減量に取り組みましょう 2. リサイクルを推進しましょう 3. マイバッグを推進しましょう
	【健康推進部会】 1. 年に1回は健診を受けましょう 2. バランスの良い食事を心がけましょう 3. ラジオ体操に参加しましょう

11. 佐賀市エコプラザ管理運営事業 3-10-3

佐賀市エコプラザは、佐賀市の環境学習の拠点として、市民に「“ごみを出さない生活”を実践するための啓発活動」及び「水環境を主体とした環境保全活動」の機会を提供し、市民の環境に対する意識の高揚を目的とした施設である。平成15年8月17日開館。

1階 「再生ゾーン」

ごみを出さないために必要な技術、知識の普及を行い、市民に3Rのうち特に2R（ごみの減量：Reduce, 再利用：Reuse）の意識高揚を図る。

【再生講座、エコマーケット（フリーマーケット）、再生品販売など】

※平成17年度から、ごみ減量啓発業務としてNPO法人に運営委託

2階 「環境学習ゾーン」

佐賀市の清掃工場処理施設に関する情報や、ごみ減量に対する取組を掲示し、市民の環境保全の意識を高める。

3階 「工場ゾーン」

清掃工場・リサイクル工場内部に市民が自由に見学できるコースを設置し、市民のごみ問題に対する関心を高める。

平成23年度来場者実績

	区 分	団 体 数	見学者数
団体施設見学	市内小中学校	38	2,215名
	市外小中学校	27	1,436名
	そ の 他	41	1,323名
	計	106	4,974名
再 生 講 座	実 施 回 数	97回	
	受 講 者 数	640名	
来場者		14,558名	
イベント来場者		6,406名	
合 計		26,578名	

12. ごみ処理 3-11

(1) 分別収集

①佐賀地区・久保田町

区分	対象物	収 集			処 理	
		回数	形態	場所	形態	方法
燃えるごみ	生ごみ、紙くず、廃プラスチック等	週 2 回	直営/ 委託	ステーション	直 営	焼却→資源化・埋立て
燃えないごみ	金属、ガラスくず、陶磁器、電球、乾電池等	月 2 回	委託			プレス→資源化 破砕→埋立て
資源物	新聞・チラシ	佐賀地区 …月 2 回、 久保田町 …月 1 回	直営/ 委託		業者 売却	資源化
	雑誌・包装紙・箱類		直 営			
	ダンボール				委託	
	牛乳パック					
	布類	月 2 回				
	ペットボトル		委託			
ビン・缶	直 営					
廃食用油	週 1 回	直 営	回収拠点	直 営		
蛍光管・体温計	蛍光管、水銀の体温計・温度計	月 2 回	委託	ステーション	委託	
粗大ごみ	指定袋に入らない大型家具等	ステッカー方式:月1回 臨時収集:随時	委託	戸 別	直 営	リユース→無償譲渡 焼却→資源化・埋立て 破砕→資源化・埋立て

②諸富町・三瀬地区（処理主体は脊振共同塵芥処理組合）

区分	対象物	収 集			処 理		
		回数	形態	場所	形態	方法	
燃えるごみ	生ごみ、紙くず、廃プラスチック、布等	週 2 回	委託	ステーション	直営	焼却→資源化・埋立て	
燃えないごみ	金属、ガラスくず、陶磁器等	月 2 回			一部委託	破砕→資源化・埋立て	
資源物	空缶・空ビン	月 1 回			委託	委託	資源化
	ペットボトル						
	新聞・広告						
	雑誌類						
	紙パック						
	トレイ						
	ダンボール						
	廃食用油	週 1 回	直営	回収拠点	直営		
有害ごみ	蛍光管・電球、乾電池、体温計、鏡等	月 2 回	委託	ステーション	委託		
粗大ごみ	指定袋に入らない大型家具等	ステッカー方式:年4回 臨時収集:随時		戸別			

③大和町

区分	対象物	収 集			処 理	
		回数	形態	場所	形態	方法
燃えるごみ	生ごみ、紙くず、布等	週 2 回	委託	ステーション	直営	焼却→埋立て
プラスチック系ごみ	食品トレイ、ラップ類、発泡スチロール等	月 2 回				プレス→資源化 破砕→埋立て
燃えないごみ	金属、ガラスくず、陶磁器、電球、乾電池等					
資源物	空き缶・空きびん				月 1 回	団体が指定する場所
	ペットボトル					
	新聞・チラシ					
	雑誌等					
	ダンボール等	週 1 回		直営		回収拠点
有害ごみ	蛍光管、水銀の体温計・温度計	月 2 回	ステーション	委託		
粗大ごみ	指定袋に入らない大型家具等	月 1 回	委託	戸別	直営	リユース→無償譲渡 破砕→資源化 焼却→埋立て

④富士町

区分	対象物	収 集			処 理	
		回数	形態	場所	形態	方法
燃えるごみ	生ごみ、紙くず、布等	週 1 回、 地区により週 2 回	委託	ステーション	直営	焼却→埋立て
燃えないごみ	金属、ガラスくず、陶磁器、 空缶、蛍光灯、電球等	月 1 回				委託
資源物	無色透明ビン				資源化	
	茶色ビン					
	その他色ビン					
	ペットボトル					
	容器包装プラスチック					
	白色トレイ					
	新聞・チラシ					
	雑誌・包装紙・箱類					
	ダンボール					
	牛乳パック					
	廃食用油	週 1 回	直営	回収拠点	直営	
有害ごみ	乾電池、体温計、温度計	施設直接持ち込み			委託	
粗大ごみ	指定袋に入らない大型家具、 小型電化製品等	月1回	直営	戸別		

⑤川副町・東与賀町

区分	対象物	収 集			処 理				
		回数	形態	場所	形態	方法			
燃えるごみ	生ごみ、紙くず、廃プラスチック等	週 2 回	委託	ステーション	委託	焼却→埋立て			
燃えないごみ	ガラスくず、陶磁器	月 1 回				破碎→資源化・埋立て			
	金属類	月 1 回							
資源物	スチール缶	月 1 回				委託	ステーション	委託	資源化
	無色ガラスびん								
	茶色ガラスびん								
	その他ガラスびん								
	ペットボトル								
	食品トレイ								
	その他プラスチック製容器包装								
	乾電池								
	蛍光管・電球								
	廃食用油		週 1 回	直営	回収拠点				
粗大ごみ	辺の長さが40cmを超えるもの	月 1 回	委託	戸別	委託	リユース→無償譲渡 破碎→資源化・埋立て			

※廃食用油の収集・処理は、①～⑤とも佐賀地区の直営

※川副町・東与賀町において、次のものは月 1 回の資源物集団回収による。

アルミ缶、一升びん・ビールびん、紙パック、ダンボール、その他紙製容器包装、
新聞・広告、雑誌、古着・布、ビールケース、アルミ箔

(2) ごみ処理事業の内容（平成23年度）

① 指定袋制度

【歳入】

- ・指定袋ごみ処理手数料 359,194千円 (12,287,390枚)
- ・指定袋広告料 600千円

【歳出】

- ・指定ごみ袋製造経費 82,211千円 (13,354,600枚)
- ・指定ごみ袋販売手数料等 49,679千円

② ごみ減量啓発事業

事業名	件数	事業費(補助金交付額)
資源物回収奨励金	230団体	5,521千円
家庭用生ごみ処理容器購入費補助金	269件	331千円

③ ごみステーションの適正管理

事業名	件数	事業費(補助金交付額)
ごみステーション維持管理活動補助金	654地区	36,746千円
カラスネット購入費補助金	116件	494千円

(3) 施設の概要

① 佐賀地区、久保田町

【清掃工場】

- ・名称 佐賀市清掃工場
- ・所在地 佐賀市高木瀬町大字長瀬2369番地
- ・敷地面積 50,600㎡
- ・事業年度 平成12年度～平成14年度（外構は平成15年度まで）
- ・竣工 平成15年3月
- ・処理能力 ごみ処理施設 300 t／日（100 t／24 h × 3 系列）
灰溶融施設 23 t／日（23 t／24 h × 1 系列）
- ・総事業費 175億円

○主要設備方式

- ・受入供給設備 ピット&クレーン方式
- ・燃焼設備 全連続ストーカ式焼却炉 300 t／日（100 t／日・炉×3 炉）
- ・燃焼ガス冷却設備 自然循環型単胴水管式ボイラ 最大14.6 t／h
- ・排ガス処理設備 活性炭噴霧＋乾式消石灰噴霧＋バグフィルタ
- ・余熱利用施設 蒸気タービン発電機 出力4,500kW 高温水発生装置
- ・灰出し設備 プラズマ式灰溶融炉 23 t／日

○公害防止基準値（本施設排ガス基準値）

- ・はいじん濃度 0.02 g／N以下
- ・塩化水素濃度 50ppm以下
- ・硫黄酸化物 50ppm以下
- ・窒素酸化物 100ppm以下
- ・ダイオキシン類 0.1ng-TEQ／m³N以下

排ガス濃度は酸素濃度12％換算値である。

【リサイクル工場】

- ・ 名 称 佐賀市リサイクル工場
- ・ 延べ床面積 6,513.93㎡
- ・ 事業年度 平成13年度～平成15年度
- ・ 竣 工 平成16年3月
- ・ 処理能力 不燃ごみ 10 t／日（破碎、選別）
不燃粗大ごみ 19 t／日（破碎、選別）
紙 9 t／日（圧縮）
ペットボトル 2 t／日（圧縮）
資源物貯留場（古布、雑誌、新聞、段ボール）
計 24 t／日

【廃食用油再生工場】

- ・ 名 称 佐賀市廃食用油再生工場
- ・ 延べ床面積 177.37㎡
- ・ 事業年度 平成15年度
- ・ 竣 工 平成16年3月
- ・ 処理能力 1.5 t／日（1,600リットル／日）
- ・ 処理方式 メタノール、グリセリン反応、精製方式

【ごみ埋立地】

- ・ 名 称 佐賀市一般廃棄物最終処分場
- ・ 所在地 佐賀市嘉瀬町大字十五新地籠内
- ・ 処理地総面積 167,047.22㎡
- ・ 埋立方式 セル方式
- ・ 汚水処理能力 200 m³／日（最大400 m³／日）
- ・ 汚水処理方式 沈砂地＋流量調整槽＋生物処理＝（回転円板＋沈殿＋接触酸化）＋
物理処理（凝集沈殿＋砂濾過＋活性炭吸着）＋消毒
- ・ 工 期 昭和55年8月11日～昭和56年9月30日
- ・ 設計管理 株式会社環境工学コンサルタント
- ・ 施 工 土木建設工事 松尾建設株式会社
機械電気設備工事 アタカ工業株式会社

【佐賀資源化センター】

- ・ 商 号 株式会社佐賀資源化センター（第3セクターによる法人組織）
- ・ 所在地 佐賀市嘉瀬町大字十五2724番地1
- ・ 資本金 8,500万円
- ・ 設 置 平成4年2月10日

- ・事業内容 (1) 佐賀市内から発生する廃棄物の資源化に関する分別選別業務
(2) 分別選別した資源のリサイクル業務
(3) 前各号に付帯する一切の業務
- ・建設面積 803.50m²
- ・工期 平成4年2月1日～平成4年5月31日

②大和町

【清掃工場】

- ・名称 クリーンセンター大和
- ・所在地 佐賀市大和町松瀬4304
- ・敷地面積 53,030m²
- ・事業年度 平成6年度～平成8年度
- ・竣工 平成9年3月
- ・処理能力 ごみ処理施設 25t／8h (12.5t×2炉)
粗大ごみ処理施設 8t／5h
- ・総事業費 31億5,000万円 (処分場建設を含む)

○主要設備方式

- ・受入供給設備 ピット&クレーン方式
- ・燃焼設備 ストーカ式焼却炉 25t／8h (12.5t×2炉)
- ・燃焼ガス冷却設備 水噴霧式
- ・排ガス処理設備 乾式消石灰 (活性炭入り) 噴霧+バグフィルタ
- ・灰出し設備 ピット&クレーン方式

【ごみ埋立地】

- ・所在地 佐賀市大和町松瀬4304
- ・埋立面積 7,000m² (埋立容量：35,000m³)
- ・埋立方式 セル方式
- ・汚水処理能力 30m³／日
- ・汚水処理方式 前処理+生物処理+脱窒処理+砂ろ過+活性炭処理+キレート処理+消毒

③富士町

【清掃工場】

- ・名称 富士クリーンセンター
- ・所在地 佐賀市富士町鎌原1536-1
- ・敷地面積 26,362m²
- ・事業年度 平成4年度～平成5年度
- ・竣工 平成6年3月
- ・処理能力 ごみ処理施設 8t／8h×1炉
粗大ごみ処理施設 4t／5h

- ・総事業費 13億円（処分場建設を含む）

○主要設備方式

- ・受入供給設備 ピット&クレーン方式
- ・燃焼設備 ストーカ式焼却炉 8 t / 8 h × 1 炉
- ・燃焼ガス冷却設備 水噴霧式
- ・排ガス処理設備 乾式消石灰噴霧+バグフィルタ
- ・灰出し設備 ピット&クレーン方式

【ごみ埋立地】

- ・所在地 佐賀市富士町鎌原1536-1
- ・埋立面積 4,000m²（埋立容量：10,088 m³）
- ・埋立方式 セル方式
- ・汚水処理能力 20 m³ / 日（最大40 m³ / 日）
- ・汚水処理方式 生物処理+脱窒処理+凝集沈殿+砂ろ過+活性炭処理+消毒

④諸富町、三瀬村

脊振共同塵芥処理組合（459ページ参照）

⑤川副町、東与賀町

【清掃工場】

- ・名称 川副・東与賀清掃センター
- ・所在地 佐賀市川副町大字犬井道5727
- ・敷地面積 8,035m²
- ・事業年度 昭和61年度～昭和62年度
- ・竣工 昭和63年3月
- ・処理能力 ごみ処理施設 35 t / 8 h（17.5 t × 2 炉）

○主要設備方式

- ・受入供給設備 ピット&クレーン方式
- ・燃焼設備 ストーカ式焼却炉 35 t / 8 h（17.5 t × 2 炉）
- ・燃焼ガス冷却設備 水噴霧式
- ・排ガス処理設備 乾式消石灰及び活性炭噴霧+バグフィルタ
- ・灰出し設備 灰バンカー方式

【ごみ埋立地】

- ・所在地 佐賀市川副町大字犬井道5720
- ・埋立面積 10,300m²（埋立容量：31,880 m³）
- ・埋立方式 セル方式
- ・汚水処理能力 日平均53 m³ / 日 日最大260 m³ / 日
- ・汚水処理方式 円転円板接触法+凝集沈殿法+砂ろ過法

(4) ごみ総排出量

①佐賀市全域

(単位：トン)

年度			平成21年度	平成22年度	平成23年度
収集人口（人） 10月1日現在			236,693	236,357	235,809
収集	可燃ごみ	直営	23,789	21,655	19,821
		委託	20,301	21,625	23,302
		許可	24,459	24,057	23,061
		小計	68,549	67,337	66,184
	不燃ごみ	直営	131	0	0
		委託	1,888	1,932	2,054
		許可	40	37	31
		小計	2,059	1,969	2,085
	資源物	ペットボトル	583	596	590
		ビン・缶	2,236	2,442	2,385
		紙・布類	4,145	4,145	3,765
		廃食用油	87	92	104
		小計	7,051	7,275	6,844
	粗大ごみ	直営	2	0	0
		委託	329	285	306
		許可	351	393	309
		小計	682	678	615
	有害ごみ	委託	18	37	27
	計		78,359	77,296	75,755
直接搬入			10,682	10,318	9,777
総量			89,041	87,614	85,532
集団回収			1,926	1,815	1,840
合計			90,967	89,429	87,372

②佐賀地区・久保田町

(単位：トン)

年度			平成21年度	平成22年度	平成23年度
収集人口（人） 10月1日現在			170,180	170,099	169,945
収集	可燃ごみ	直営	23,789	21,655	19,821
		委託	8,850	10,351	12,026
		許可	20,776	20,360	19,353
		小計	53,415	52,366	51,200
		不燃ごみ	直営	131	0
	委託		1,134	1,192	1,263
	許可		28	24	18
	小計		1,293	1,216	1,281
	資源物	ペットボトル	448	471	468
		ビン・缶	1,795	2,037	1,983
		紙・布類	3,712	3,754	3,413
		廃食用油	68	71	82
		小計	6,023	6,333	5,946
	粗大ごみ	直営	2	0	0
		委託	302	260	271
		許可	351	393	309
		小計	655	653	580
	有害ごみ	委託	14	14	12
	計		61,400	60,582	59,019
直接搬入			8,575	8,266	7,831
総量			69,975	68,848	66,850
集団回収			971	908	949
合計			70,946	69,756	67,799

③諸富町・三瀬地区

(単位：トン)

年度			平成21年度	平成22年度	平成23年度
収集人口（人） 10月1日現在			12,926	12,913	12,823
収集	可燃ごみ	直営	0	0	0
		委託	2,525	2,453	2,408
		許可	39	49	63
		小計	2,564	2,502	2,471
	不燃ごみ	直営	0	0	0
		委託	103	89	87
		許可	0	0	0
		小計	103	89	87
	資源物	ペットボトル	20	20	18
		ビン・缶	91	87	89
		紙・布類	110	106	88
		廃食用油	5	5	6
		小計	226	218	201
	粗大ごみ	直営	0	0	0
		委託	9	9	20
		許可	0	0	0
		小計	9	9	20
	有害ごみ	委託	1	6	3
	計		2,903	2,824	2,782
直接搬入		426	356	289	
総量		3,329	3,180	3,071	
集団回収		112	111	101	
合計		3,441	3,291	3,172	

④大和町

(単位：トン)

年度			平成21年度	平成22年度	平成23年度
収集人口（人） 10月1日現在			22,454	22,441	22,319
収集	可燃ごみ	直営	0	0	0
		委託	3,441	3,353	3,353
		許可	1,821	1,829	1,811
		小計	5,262	5,182	5,164
	不燃ごみ	直営	0	0	0
		委託	359	355	374
		許可	0	0	0
		小計	359	355	374
	資源物	ペットボトル	41	43	44
		ビン・缶	251	211	199
		紙・布類	250	216	191
		廃食用油	7	8	7
		小計	549	478	441
	粗大ごみ	直営	0	0	0
		委託	16	13	12
		許可	0	0	0
		小計	16	13	12
	有害ごみ	委託	0	11	6
	計		6,186	6,039	5,997
直接搬入			359	405	466
総量			6,545	6,444	6,463
集団回収			147	169	180
合計			6,692	6,613	6,643

⑤富士町

(単位：トン)

⑤富士町

(単位：トン)

年度			平成21年度	平成22年度	平成23年度
収集人口（人） 10月1日現在			4,523	4,443	4,314
収集	可燃ごみ	直営	0	0	0
		委託	497	478	513
		許可	523	467	472
		小計	1,020	945	985
	不燃ごみ	直営	0	0	0
		委託	24	25	29
		許可	12	13	13
		小計	36	38	42
	資源物	ペットボトル	15	10	9
		ビン・缶	20	17	17
		紙・布類	73	69	73
		廃食用油	1	1	1
		小計	109	97	100
	粗大ごみ	直営	0	0	0
		委託	0	0	0
		許可	0	0	0
		小計	0	0	0
	有害ごみ	委託	0	0	0
	計			1,165	1,080
直接搬入			113	135	146
総量			1,278	1,215	1,273
集団回収			0	0	0
合計			1,278	1,215	1,273

⑥川副町・東与賀町

(単位：トン)

年度			平成21年度	平成22年度	平成23年度
収集人口（人） 10月1日現在			26,610	26,461	26,408
収集	可燃ごみ	直営	0	0	0
		委託	4,988	4,990	5,002
		許可	1,300	1,352	1,362
		小計	6,288	6,342	6,364
	不燃ごみ	直営	0	0	0
		委託	268	271	301
		許可	0	0	0
		小計	268	271	301
	資源物	ペットボトル	59	52	51
		ビン・缶	79	90	97
		紙・布類	0	0	0
		廃食用油	6	7	8
		小計	144	149	156
	粗大ごみ	直営	0	0	0
		委託	2	3	3
		許可	0	0	0
		小計	2	3	3
	有害ごみ	委託	3	6	6
	計		6,705	6,771	6,830
直接搬入		1,209	1,156	1,045	
総量		7,914	7,927	7,875	
集団回収		696	627	610	
合計		8,610	8,554	8,485	

13. し尿処理 3-10

収 集：「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」において定められた「一般廃棄物処理実施計画」において、収集の地区割りがなされ、許可業者が各地区を収集している。（蓮池町は委託業者）

処 理：佐賀市衛生センターの施設で処理を行っている。（大和地区・久保田地区・三瀬地区を除く）

※大和地区・久保田地区の分を、天山地区共同衛生処理場組合のクリーンセンター天山で、三瀬地区の分を三神地区環境事務組合の三神地区汚泥再生処理センターでそれぞれ処理を行っている。

(1) 処理状況

（単位：KL）

年 度			19	20	21	22	23
収 集 量	し 尿	委託（蓮池地区）	1,008	785	589	469	356
		許可	57,256	53,770	49,484	45,467	41,670
		計	58,264	54,555	50,073	45,936	42,026
	浄 化 槽 汚 泥	委託（市営浄化槽）					1,741
		許可	33,654	31,723	30,191	30,254	27,693
		計	33,654	31,723	30,191	30,254	29,434
	合 計		91,918	86,278	80,264	76,190	71,460
処 理 量	し 尿	佐賀市衛生センター	43,922	41,114	38,270	35,000	32,203
		クリーンセンター天山	13,656	12,739	11,176	10,233	9,181
		三神地区汚泥再生処理センター	686	702	627	703	642
		計	58,264	54,555	50,073	45,936	42,026
	浄 化 槽 汚 泥	佐賀市衛生センター	24,038	22,768	20,558	21,398	20,166
		クリーンセンター天山	8,748	7,955	8,739	7,866	8,193
		三神地区汚泥再生処理センター	868	1,000	894	990	1,075
		計	33,654	31,723	30,191	30,254	29,434
	合 計		91,918	86,278	80,264	76,190	71,460

平成23年度の地区別処理状況

（単位：KL）

地 区	佐賀地区	諸富地区	大和地区	富士地区	三瀬地区	川副地区	東与賀地区	久保田地区	合 計
し 尿	19,562	2,872	8,059	597	642	7,907	1,265	1,122	42,026
浄化槽汚泥	11,910	1,416	6,861	1,045	1,075	4,208	779	896	28,190
農集排汚泥	30	62		658			58	436	1,244
合 計	31,502	4,350	14,920	2,300	1,717	12,115	2,102	2,454	71,460

(2) し尿くみ取り手数料（佐賀市廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例において規定）

223円（税込）

※ 18L 当たり（18L 未満は、18L とする。）

※ 平成21年6月1日改正

(3) 施設の概要

- ・ 名 称 佐賀市衛生センター
- ・ 所 在 地 佐賀市巨勢町大字牛島528番地
- ・ 敷地面積 16,027㎡
- ・ 竣 工 平成3年3月
- ・ 処理能力 260KL/日（生し尿175KL/日、浄化槽汚泥85KL/日）
- ・ 処理方法 高負荷脱窒素処理
- ・ 放 流 先 公共下水道
- ・ 焼 却 炉 15 t /日
- ・ 総工事費 24億1,000万円